

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

川崎汽船株式会社（証券コード:9107）

【変更】

長期発行体格付	BBB	→	BBB+
格付の見通し	ポジティブ		
債券格付	BBB	→	BBB+
劣後ローン格付	BB+	→	BBB-

【据置】

国内CP格付	J-2
--------	-----

■格付事由

- 自動車船およびドライバルク船で優良な顧客基盤を抱え、世界有数の船隊規模を持つ。近年はポートフォリオ戦略の転換を進めてきており、18/3期に重量物船事業を売却、19/3期には主力のコンテナ船事業を他邦船大手2社と統合した。また、20/3期にプロダクトタンカー事業から撤退するとともに国内港湾運送事業を再編、21/3期に北米西岸ターミナル事業売却、22/3期には海外オフショア支援船事業から撤退した。
- 海運大手3社の定期コンテナ船事業を統合したオーシャン ネットワーク エクスプレス社の利益が高水準で推移しており、3社とも好業績が続いている。多額の最終利益によって各社の自己資本が増加し、財務体質が良化している。中でも当社の財務構成の改善は急速に進んでおり、改善度合いが顕著であることから、格付を1ノッチ引き上げ、見通しを引き続きポジティブとした。海運大手3社の格付については、今後も各社の業績動向や財務基盤強化の進捗などを確認しながら格付に反映させていく。
- 23/3期経常利益は7,000億円（前期比6.5%増）と過去最高益を大きく更新した22/3期をさらに上回ることが予想されている。コンテナ船をはじめ、ほぼすべての主要事業で増益となる見込みである。24/3期以降は、コンテナ船運賃市況の調整などによって利益水準が低下する可能性が高いと見られるが、事業構造改革や船隊規模適正化などの効果によって収益力が向上しており、業績は底堅く推移すると考えられる。
- 23/3期第1四半期末自己資本比率（劣後ローンの資本性評価後）は65.8%と22/3期末58.6%からさらに改善した。また、21/3期以降はフリーキャッシュフローが黒字を継続しており、有利子負債が減少している。今後、投資や株主還元の見込みが拡大されるものの、資本効率の最適化と財務の健全性を両立していく方針であり、良好な財務内容が維持される見通しである。

（担当）水川 雅義・長安 誠也

■格付対象

発行体：川崎汽船株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	ポジティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	70億円	2015年8月31日	2022年8月31日	1.05%	BBB+

対象	借入額	実行日	弁済期日	利率	格付
劣後ローン	450億円	2019年4月5日	2054年3月31日	（注1）	BBB-
劣後ローン	300億円	2020年9月23日	2057年9月23日	（注2）	BBB-

（注1） 実行日から2024年3月の利払日（同日は含まない）までは3ヵ月日本円TIBORに当初スプレッドを加算した利率、2024年3月の利払日（同日含む）以降は3ヵ月日本円TIBORに当初スプレッドおよび1.0%のステップアップ金利を加算した利率

(注2) 実行日から2027年9月の利払日(同日は含まない)までは3ヵ月日本円TIBORに当初スプレッドを加算した利率、2027年9月の利払日(同日含む)以降は3ヵ月日本円TIBORに当初スプレッドおよび1.0%のステップアップ金利を加算した利率

【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	600億円	J-2

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2022年8月10日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：水川 雅義
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ(<https://www.jcr.co.jp/>)の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ(<https://www.jcr.co.jp/>)の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「海運」(2011年12月7日)、「ハイブリッド証券の格付について」(2012年9月10日)として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 川崎汽船株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
なお、本件劣後ローンにつき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ(<https://www.jcr.co.jp/en/>)に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル